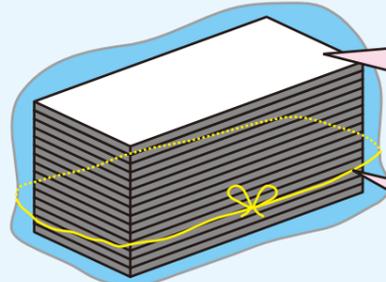


その他の注意点

- ・他の培土、資材との混合はしないでください。生育不良や病原菌等の混入の恐れがあります。
- ・本品は水稲育苗専用培土ですので他の作物には使用しないでください。
- ・本製品は翌年への持ち越しができません。開封後は使い残りのない様に全量使い切ってください。
- ・事前箱詰めはできるだけ避けてください。行った場合は数日以内に播種してください。



最上部はカラ箱
培土とシート類など直接触れないように

吸湿性の低い保温資材ビニールシートなどで
被覆し下部を紐等で縛る

- ・保管場所は、直射日光を避け、高温多湿の場所での保管は避けてください。

良い例

陽が当たらない倉庫や物置など

遮光性が高く温度変化の少ないシート

かるいんです

↑ 吸水しない台座

悪い例

雨と風

太陽の日差し

ビニールハウス内保管

《水稲育苗時、問題発生例と、その対策（一般用）》

状況	原因	対策
灌水時、吸水性が悪い (水が引かない)	灌水量が多すぎる (苗箱タイプ、敷き紙の材質)	1.0~1.2Lが適量です (6秒以内に、水が引けばOKです)
	床土が、乾いている (表面白い)	土詰め後は、なるべく早く播種 してください。シート等で覆う
	床土厚(量)が不足している	規定の床土厚にする (18mm/約1,500g)
全体にバラツキ (出芽不良)	浸種不足 (籾が水分を充分吸収していない)	積算温度、100~120℃ (品種により違う)
	催芽ムラ (芽出しが不均一)	催芽器を使い、ハトムネ状態に 揃える
白カビの発生	リゾプス属菌(くもの巣カビ) ムコール属菌(バッチ状) (高温多湿、厚播き、資材の汚染)	短時間(数時間)換気して、 軽く灌水する・・・光に弱い 殺菌剤を散布する
生育不揃い	置床の不均平	均平に努め、水分ムラを防ぐ
	苗箱のタイプを揃える	箱により、保水性が変わる

連絡先 昭和培土株式会社

東京営業所 TEL 03-3459-5119
東京都港区芝公園二丁目4番1号

仙台営業所 TEL 022-217-7671
宮城県仙台市青葉区一番町三丁目3番5号
仙台青葉通ビル6階

軽量水稲培土

★SB かるいんです

充填時25ℓ

かるいんです



4.2
kg

ニューしょうわ培土



6.3
kg

従来の育苗方法でOK!!
プール育苗もOK!!



製造元 昭和培土株式会社

かるいんです製品仕様比較

規格/銘柄		かるいんです(一般用)		ニューしょうわ培土		
袋当り包装単位(容量/重量)		25ℓ/15kg		20kg		
フレコン当り包装単位(容量/重量)		1200ℓ/720kg		1,000kg		
pH(H ₂ O)		4.5~5.5		4.5~5.5		
EC(mS/cm)		約0.80(寒地)		約0.65(寒地)		
製品水分		約25%		約20%		
嵩比重		約0.6		約1.05		
1箱当り(18mm) 肥料成分(覆土込み) g(単位)		暖地	N-P-K 1.0-1.5-1.0	暖地	N-P-K 1.0-1.5-1.0	
		中間地	N-P-K 1.5-2.2-1.5	中間地	N-P-K 1.5-2.2-1.5	
		寒地	N-P-K 2.0-3.0-2.0	寒地	N-P-K 2.0-3.0-2.0	
灌水 量	1次(床土に灌水)	1ℓ~1.5ℓ		1ℓ~1.2ℓ		
	2次(播種後の灌水)	0.5ℓ		0.5ℓ		
	1回灌水の場合	約1.2ℓ				
箱枚数・ 床土厚 18mm	1箱当り床土量	約1,500g		約2,700g		
	1箱当り覆土量	500g		700g		
	1箱当り総量	約2,000g		約3,400g		
仕上り	25日育苗(稚苗) 箱付苗重量/1箱	1袋(フレコン)床土のみ	約11枚/袋	約528枚/フレコン	約7枚/袋	約350枚/フレコン
		当りの箱枚数 覆土含む	約9枚/袋	約428枚/フレコン	約5枚/袋	約250枚/フレコン
仕上り		約4,000g~4,500g		約6,000g~7,000g		

かるいんです 特長

1) 植物繊維を主原料とすることで、軽くて、播種時の持ち運び、田植え時の苗の受け渡し等、作業労力が大幅に軽減されます。

当社比約40%の軽量化

2) 機械適正を充分考慮しました。

播種機→ほとんどの機種で、土詰め、灌水、覆土で円滑作業が可能です。

育苗機→保水性に優れ、適度な軽さで出芽がスムーズです。

田植機→マット苗のように軽すぎず、根張りが良いので、植え付け精度が高いです。

また、**高速運転時でも苗の持ち帰りが少なく良好な田植えが行えます。**



3) 従来培土からの切り替えが容易です。《扱いやすく、クセがありません》

良質な植物繊維と腐植が入っているため、**物理性(通気性、吸水性に優れ、保水力、保肥力)**も従来培土と同等以上です。

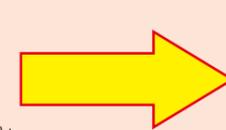
また、**成型マットに比べて水の管理が容易で、安定した苗作りが可能です。**

4) 原料は全て天然資材で、安心安全です。

植物繊維を主原料としているため、特に根毛の伸びが優れていますので、低温条件下でも根がらみの良い健苗ができます。また、田植後は、分解し土に還元されます。



低温下でも……



根張り
バッチリ!

5) ほとんどの育苗方法で使えます。

播種方法・・・散播(稚・中苗)、条播(スジ播き)、成苗ポット等で使用できます。

<ポットで使用する場合は若干の加水が必要です>

育苗方法・・・ハウス、トンネル育苗はもちろん、**プール育苗もOKです。**

※プール育苗時、苗代(置床)は、排水の良い場所を選び、高低をならして均平化を図って下さい。(根腐れと生育不揃いの防止)

各種注意点

播種

土詰め

- ・散播育苗の場合、床土鎮圧は絶対にしないで下さい。
- ・木箱を使用する場合は、十分吸水させてからお使い下さい。
- ・プラ箱を使用する場合、変形した箱は出芽不良等の原因になるので使用しないで下さい。

灌水

- ・灌水過多は出芽不良の原因となり、灌水不足は根上がりの原因となりますので適正量の灌水を行って下さい。
- ・発芽、生育に障害を及ぼす場合がありますので、播種後灌水は避けて下さい。
- ・播種機によっては一回だけの灌水システム(播種後灌水)もありますが、その場合は出芽時の水分不足に注意して下さい。
- ・病気(リゾプス菌)の予防を兼ねて、殺菌剤による消毒をお勧めします。

覆土

- ・無加温出芽、あるいは暖地地区の場合は根上がり防止のため覆土量をやや多めにするか、従来品(粒状培土)の使用をお勧めします。その場合は(800~900g/箱)
- ・覆土後の灌水は絶対しないで下さい。

管理

育苗初期

- ・急激な環境変化(直射日光や低温)を防いで下さい。
- ・温度管理は、昼間20~25℃、夜間15~20℃を目安に管理して下さい。
- ・育苗箱の置床の設置については、床面と密着することに留意して下さい。

育苗後期

- ・温度管理は、昼間15~20℃、夜間10~15℃を目安に管理して下さい。
- ・乾いたら灌水しますが午後からの灌水をなるべく控えて、夜間は床土を過湿状態にしないで下さい。(夜間、床土が過湿状態になると根の生理機能が弱まりムレ苗の原因になります。)

移植(田植え)

- ・田植機のかき取り本数が土苗の場合よりも少なくなる傾向があるので、その場合は苗に軽く灌水して重さを加えるか、田植機本体のかき取り調節をして下さい。
- ・苗の滑りが悪い場合、苗の横面を軽くトントンと突いて締めて下さい。
- ・苗の補充(つぎ足し)は早めにして下さい。